

平成 31 年度事業計画
(平成 31 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日)

1. 基本方針

当財団においては、財政的支援環境の極めて厳しい変化の中で、将来に向けての自律的な事業の推進の為、平成 23 年 10 月に移行認定を受け、公益財団法人として新たな一步を踏み出した。平成 31 年度の事業において、財団の財政基盤を勘案し、引き続き「全日本マイクロマウス大会の継続的な開催」を最優先課題とする。また、全日本マイクロマウス学生大会も当財団の公益事業として実施する予定である。

特に全国大会の開催についての準備・運営は年度毎の実行委員会を新たに組織し、参加者を主体とするボランティアグループ（マウスサポーターズ）の協力を得ながら運営・実施となっており、引き続きその運営体制の確立に努力する。平成 31 年度は東京工芸大学での開催を計画している。また、学生大会については支援してきた内容と学生の人材育成も勘案しながら引き続き体制を整えていく予定である。平成 31 年度も開催を計画している。

2. 事業の実施計画

2-1 科学技術に関する普及、調査研究及びこれらに対する助成に関する事業

2-1-1 メカトロニクス技術・ロボット技術の普及活動と助成事業

2-1-1-1 マイクロマウス 2019(第 40 回全日本マイクロマウス大会) の開催

今年度は東京工芸大学の協力を得て、「マイクロマウス 2019 実行委員会」(実行委員長：東京工芸大学准教授 鈴木秀和氏)によって計画・準備を行いながら、当日の運営についてもボランティアグループ（マウスサポーターズ）の協力を得ながら行う事とする。40 回記念大会でもあり、小イベントを企画したい。また、常置委員会としてのマイクロマウス委員会についても、それに伴う役割分担や協力体制の充実・確立の為に、さらなる再編成を行う。2 日間での開催を行う。

期 日：2019 年 11 月 30 日(土)～12 月 1 日 (日) (予定)

会 場：東京工芸大学厚木キャンパス (予定)

2-1-1-2 全日本学生マイクロマウス大会の開催

今年度は各大学持ち回りでの運営を撤廃し、事務局によって計画・準備を行いながら、当日の運営については従来通り学生ボランティアグループの協力を得ながら行う事とする。また、それに伴う役割分担や協力体制の充実・確立の為に、新規に体制の編成を行う。

期 日：2019 年 9 月ごろ (予定)

会 場：未定

2-1-1-3 マイクロマウス各地区大会の共催と助成

・期 間：2019 年 7 月～11 月

・場 所：全国地方支部等（昨年度と同数 8 大会程度）にて開催予定

2-1-1-4 つくばチャレンジ 2019 への協力

・主催：つくばチャレンジ実行委員会、つくば市

・共催・後援：関連団体

- ・協力：当財団、ほか関連団体
- ・日程：本走行・2019年11月（予定）（実験走行/6月～11月の間に実施予定）

上記の各事業の継続的開催のため、組織運営に関して見直しを行う。

2-1-2 その他の普及活動

特になし

2-2 広報事業

財団の事業活動について、ホームページならびにメールマガジン等の発行を中心としながら、財団事業の情報発信を積極的に実施する。

2-3 情報交流・国際交流に関する事業

2-3-1 「International Conference on Intelligent Robots and Systems 2019」

知能ロボットとシステムに関する国際会議 2017:略称 IROS2019 への開催協力

- ・期 間：2019年11月3日（日）～11月8日（金）
- ・場 所：マカオ（中国）

2-3-2 海外におけるマイクロマウス大会の運営、その他について情報提供

平成31年度は中国、モンゴル、チリをはじめとするここ数年で開催され始めたマイクロマウス大会の運営、交流支援を行う

3. 資金調達及び設備投資の見込みについて

資金調達、設備投資（除却または売却を含む）については、今年度は重要なものは有りません。当財団の財務改善の一環として、少額寄付賛同者を広く募ることを引き続き実施する。大会のスポンサー探しは急務として取り組むこととする。

4. 総務関係

4-1. 会議の開催予定

定例理事会の開催、理事改選、および改選に伴う諸手続き

平成31年5月

平成32年3月

定時評議員会の開催、評議員会改選、および改選に伴う諸手続き

平成31年6月

以上